

# ご利用者の感想 / ユタ州透析紀行 2008



ソルトレイクシティ

[<ご利用者の感想 目次>](#)

## 2008年6月 ユタ州透析紀行

はじめまして。静岡県Sと申します。現在35歳です。2007年6月に慢性腎不全との診断を受け、血液透析を受けております。

2008年6月にユタ州に仕事で渡米する事になり、海外医療支援のホームページを見つけ、現在までにユタ、ハワイ、グアムでの透析を体験させて頂きました。

特にユタ州では、日本人旅行者の少ない地域には旅行代理店の予約代行を行えないとの事で、海外医療支援からご紹介頂き個人単位で予約を入れる事にしました。

海外に展開している医療機関に直接FAXとEメールで何度もやりとりをして、予約や血液データを送信しました。

大変だったのは、経過表と血液データを翻訳する作業でした。パソコンの翻訳ソフトを購入し、何とか完成させました。

言葉も文化も違う場所での透析は不安でいっぱいでした。

ダイヤライザーや機械は大丈夫か、予約は取れているか、英語が通じなかったらどうしよう、など……。特に料金の面での不安が大きかったので、トラベラーズチェックを少し多めに持参しました。

当日は早朝からお願いしていたタクシーで向かいましたが、日本と違い、透析センターは1階が駐車場で2

階が処置室となっている事が多く迷いました。

日本人を受け入れるのが初めての透析センターでしたが、ドクターもナースも温かく受け入れてくれてホッとしました。

驚いた事は、ベッドではなく医療用リクライニングソファで処置を受ける事と携帯電話の通話やメールが自由な事です。特筆すべきは、透析中にファストフードを食べている患者さんがいた事です！

外国の方々は、血液流量が平均 500ml/m.と非常に早かったので訂正をお願いしました。（米国ではこの速さが通常ようです）

途中で機械が一時停止し大変緊張しましたが、原因が普段行っているリンスを行わなかったからだと分かり、少し安心しました。

その後無事に透析が完了し、ドライウェイトぴったりに調整されていた時は感動でした！！

滞在中2回の処置を受け、料金は\$ 1 1 0 0程でした。別に血糖値を計測したい方は、\$ 1 5 0程かかるそうです。帰国後、役所の国保課で海外療養証明に領収書を添付して提出しました。一か月半程で還付決定の通知が届きました。

この経験は、自分にとって大きな自信につながりました。

病気になってからは自宅にこもりがちでしたが、今は「次はどこに出かけてみようか」とワクワクしています。

是非皆さんにもこの素晴らしい体験をして頂きたいです。海外では疾患も1つのパーソナリティとして捉えられる傾向が強いと感じ、自分自身も考え方が変わりました。

英語が苦手な方には、ハワイをお勧めします。医療機関に日本人スタッフが常駐していたり、日本人介護士をお願いしたり出来るようなので、書類や予約が日本語 OK で心強いです。

末筆となりますが、普通の人が出来ないこのような素晴らしい経験が出来ましたのは、海外医療支援の方々の温かい応援があればこそだと感じています。本当にありがとうございます！

この体験談を通して一人でも多くの方が世界を感じられますように、少しでもお役に立てれば幸いです。

2008年6月

[<ご利用者の感想 目次>](#)